

2. COVID-19と脂質異常症

センター長¹，副センター長²，部長³

増田 大作

¹ 地方独立行政法人りんくう総合医療センターりんくうウエルネスケア研究センター

² 同 健康管理センター

³ 同 循環器内科

▼ Summary

SARS-CoV-2の急速な感染蔓延に伴って発症したCOVID-19は、病状が個々で異なる。脂質異常症がリスクとなるかは、発症早期から疫学的に検討されてきた。低コレステロール血症（総およびLDL，HDL）がCOVID-19の重症化や死亡に関連していると考えられていたが、急激な炎症の発症進展によっても同様の変化が認められることから直接的な関連についてはまだ不明である。スタチンをはじめとする治療薬の投薬とCOVID-19の改善効果については十分なエビデンスがないが、薬剤相互作用，CPK上昇や肝障害の出現がない場合は継続が推奨されている。

▼ Key Words

COVID-19，低脂血症，炎症，スタチン，薬剤相互作用

○ はじめに

2019年12月に中国の武漢市で重篤な肺炎の集団発生が確認され、遺伝子解析により、感染性病原体はコロナウイルスのエンペロープ一本鎖RNAファミリーのメンバーであることが明らかになった。SARS-CoV-2感染症（COVID-19）はその後急速に広まり、1年間で、1億2,300万件を超える感染が報告され、約270万人が死亡する世界的大流行となり今も継続中である¹⁾。SARS-CoV-2の興味深い点として、感染が成立したCOVID-19患者における病状が個人それぞれにおいてきわめて大きくばらつく。中国武漢での感染の爆発、その後の世界的な流行と同時進行的にすでに多くの疫学的研究が実施され情報が継続的に集積された結果、肥満、高血圧、2型糖尿病、慢性腎臓病などの既知の代謝異常や心血管疾患

を有する患者においてCOVID-19を発症する可能性が高いことが知られている^{2,4)}。ただし、これらの関連付けの基になる病態生理学的メカニズムは十分判明しておらず、また前向き研究などのエビデンスの高い研究ができないこともあり明確な因果関係はいまだ示されてない。これらの代謝疾患や心血管疾患は脂質異常症と強い関係性を有するが、脂質異常症とCOVID-19感染症の関連については明白でない。そこで、すでに報告されている情報をもとに、COVID-19感染症が出現した際の脂質値の変動、逆に脂質異常が存在した場合のCOVID-19感染リスクの増減、さらに多くの患者で使用されている脂質異常症治療薬とCOVID-19感染症の予後の影響についてまとめたい。